



～ 集団宿泊教室：5年生～

熊本県の小学校では、多くの学校が5年時に集団宿泊教室を実施しています。不知火小学校でも、9月19日、20日の1泊2日で、豊野少年自然の家での集団宿泊教室を実施しました。当日は、まだまだ暑さが厳しく、気象状況と子供たちの体調を考慮しながらの実施となりました。プログラムの変更もありましたが、子供たちは最後まで活動にがんばっていたようです。

集団宿泊教室は、「美しい自然や雄大な自然に触れる」こともそうですが、「仲間とともに、協力して困難を乗り越えていく」ことに、活動の醍醐味と教育的な意義があるように思います。ミッションをやり遂げたときの「達成感」「感動」。仲間と体験を共有し、協力する中で感じる「所属感」や「連帯感」。家庭や学校の中だけでは、なかなか実感できない貴重な体験になったことだと思います。（※ 集団宿泊の様子は、学校ホームページ「学校生活」でご覧いただけます。）



たくさんの善意に支えられて

不知火小学校は、地域の方々からの応援の寄贈や寄付をいただくことが少なからずあります。そのたびに、学校や家庭だけでなく、たくさんの地域の方々の温かいお気持ちと、子供たちの未来への大きな期待に支えられているのだと実感します。子供たちと、寄贈いただいた方々の想いを共有しながら、有効に活用させていただきたいと思えます。



JA熊本宇城柑橘部会からみかんジュースをいただきました。運動会練習の後にいただく予定です。



老人会の皆さんから手作りの雑巾をいただきました。お掃除がんばります！



交通安全協会から交通安全のためのグッズを子供たち一人一人にいただきました。自分達の命を守る勉強に使います。

